

## 第2回地方独立行政法人市立吹田市民病院に係る会計監査人選定会議 議事概要

### 1 日時

令和4年(2022年)8月31日(水) 午後2時から午後5時30分まで

### 2 場所

吹田市文化会館メイシアター 3階 第2会議室

### 3 出席者

行政経営部企画財政室長

理事(福祉指導監査室長事務取扱)

健康医療部健康まちづくり室長

健康医療部次長(保健医療総務室長兼務)

会計室長

### 4 議事案件

(1) 提案内容の評価及び審査

(2) その他

### 5 決定事項

審査の結果、EY新日本有限責任監査法人を優先交渉権者に選定した。

### 6 質疑応答概要

事業者	番号	質問	回答
No.1	1	リモート監査と現地調査のハイブリットでの監査を提案しているが、貴法人が行っていた直近の(地独)市立吹田市民病院(以下「市民病院」という。)の会計監査でも同様の手法で監査を行っていたのか。	直近の会計監査では、請求書や決算関係資料等の、市民病院がエクセルで管理している資料や、医業未収金などの算定シートへの入力により確認できるものについては、リモートで監査を行っていた。本業務においても同様の手法を予定している。
	2	直近の会計監査では、リモート監査の際、個人情報などデータの提供が難しい情報に触れる場合は、どのような対策を取っていたか。	個人情報を含むデータについては、実地監査にて市民病院からUSBを借りて調査を行い、当日中に調査を終了し、貸与されたUSBから移行したデータを全て削除し

事業者	番号	質問	回答
No.1	2		<p>ていた。</p> <p>個人情報を含まない会計データについては、当監査法人が開発した外部と遮断されたシステムを使用し、安全なデータのやり取りを行っていた。</p>
	3	<p>貴法人は、令和2年度まで市民病院の会計監査業務を請け負っていた実績があり、病院とは既に築き上げた関係性があると思うが、本市としては、厳しい目で監査を行っていただきたいと考えている。馴れ合いにならないための工夫があれば教えて欲しい。</p>	<p>公認会計士は、独立性を持って監査をしなければならないため、市民病院とも独立性は問題なく保つことができる体制を構築している。</p> <p>具体的には、定期的に監査メンバーの入れ替えを行っている。</p> <p>また、更に、厳しい目で監査を行うことができるよう、監査チームとは別に、独立審査担当社員を配置し、監査チームによる監査が適切に行われているか、厳しい目でチェックしている。</p>
	4	<p>監査メンバーの入れ替えをする際には、診療情報管理士など、公認会計士以外の資格を持っている方についても、同様の資格を持つ方と入れ替えを行う予定か。</p>	<p>診療情報管理士については、公認会計士とは異なる視点で監査に携わる。業務の効率化のためにも、診療情報管理士については、継続して同じ者がメンバーとなる予定。</p> <p>公認会計士のメンバーについて、入れ替えを行う予定である。</p>
	5	<p>監査の内容について、再委託を行う予定はないと考えて良いか。病院から連絡した際に、すぐに対応可能か。</p>	<p>再委託の予定はない。</p> <p>監査メンバーは全員常勤職員のため、即時の対応が可能である。</p> <p>執務時間中については、チャットを用いたリアルタイムの対応が可能。</p>
	6	<p>固定資産の会計処理の適正化について、具体的にどのような対応を想定しているか。</p>	<p>固定資産については、電子カルテの会計処理が将来の損益に大きな影響を及ぼすと考えるため、適切に行っていきたいと考えている。</p>

事業者	番号	質問	回答
No.1	7	人件費については、どのように見ていく予定か。	人件費は、1年間の勤怠データから年間数十人のサンプルを取り、勤怠管理システムと紙資料を突合してチェックする。 勤怠に係る申請が遅い医師等も居るため、通常より多めの人数の勤怠を確認する。
	8	内部統制について、強化すべきところがあると思うが、いかがか。	医師の働き方改革への対応も迫られているため、勤怠管理システムと別に、職員の院内滞在時間を把握できるシステムの導入を検討していると聞いている。 その運用について協議しながら、内部統制の強化について考えていきたいと思う。
	9	会計処理に関する指導・助言の方法について、前回会計監査時と変えて工夫しようと考えている点はあるか。	今後、電子帳簿保存法が施行されることも見据えて、紙資料を減らすためのシステム導入を提案していきたいと考えている。
	10	指導・助言は、直接医師に行うのか。会計担当者を通して行うのか。	指導・助言は、基本的には会計担当者にする。また、外部からの指摘の方が聞き入れやすいこともあるため、会計担当者から医師等に伝えづらいことについては、当監査法人から理事長に伝え、トップダウンで指導してもらう。
No.2	1	監査業務のデジタルトランスフォーメーションを提案しているが、これにより、リスクの検証を行い、監査の方向性を定めるということか。	デジタル技術を活用し、財務情報を中心に、どこにリスクがあるのかを洗い出す。また、同規模の病院の事例の分析も行い、どこにリスクがあるか、という視点で考えていく。
	2	会計監査人が前年度から変わることのメリットを教えて欲しい。	当監査法人は、様々な形態の病院の実績があり、アドバイザー業務の経験も豊富である。 これらの実績を基に、新しい目線で監査を行うことにより、市民病

事業者	番号	質問	回答
No.2	2		院に気付きを与えられるのではないかと考える。
	3	会計処理に関する指導・助言として、職員向けの研修は可能か。	担当者の理解が不足していると考えられる部分については、監査業務の範囲内で勉強会を開催することが可能である。
	4	年金数理人を監査チームのメンバーに置いていることのメリットを教えて欲しい。	退職給付債務に関する専門家を法人内に置くことで、外注コストを削減できるメリットがある。
	5	監査の中で、再委託を行うことは予定していないか。	予定していない。
	6	旧市民病院跡地について、帳簿上の処理だけでなく、売却等の実際の処理に関するアドバイスも想定していれば教えて欲しい。	売却の手法をすぐ提案できるわけではないが、当監査法人のグループには、資産売却を行っている法人もあるため、スキーム等の相談をすることは可能かと思う。
	7	経営において、固定資産の影響は大きいと思うが、どのような対応をすれば、病院の経営が適切に行われると考えるか。	移転により、償却資産が大きくなったと考える。 一方で、国立循環器病研究センターとの連携が進むことで診療の中身も従前とは変わってくるのではないかと考えるが、診療単価が少し低い印象がある。 病床稼働率の上昇や、地域連携について、どのようなことができるか、協議しながら一緒に考えることができるかと思う。
	8	監査チームメンバーのうちの、「その他専門家」について、具体的に想定されている職種があれば教えて欲しい。	医療情報管理士や医事業務に携わったことのある者を想定している。
	9	監査チームのメンバーは、記載のメンバーで固定する予定か。	基本的に、記載のメンバーで固定する。
	10	監査チームのメンバーは、市民病院専任ではなく、他の案件も兼ねられていると思うが、急を要する	状況に応じて、人材が足りない場合は補充するなど、対応できる体制を整える予定。

事業者	番号	質問	回答
No.2	10	場合があれば、別の人材で対応するなど、常に対応できる体制は整える予定か。	
	11	年金数理人などの専門家は、何人程度配置する予定か。	年金数理人は、3人配置予定である。
No.3	1	監査チームのメンバーは専任か。	専任ではない。
	2	提案書に「可能な限り業務執行社員及び現場責任者は固定する」と記載があるが、「個人の都合により変更する場合を除き、固定する」ということか。会社都合で変更する場合もあるということか。	例えば、現場責任者がパートナーに昇格した場合など、現場責任者を継続できなくなる場合もある。そのような要因がない場合は継続させるということ。
	3	提案書に「地方独立行政法人の監査経験がある」との記載があるが、他方で、地方独立行政法人の病院に関する業務実績の記載がない。これは、地方独立行政法人の病院の監査経験はないということか。	業務実績については、公営企業型の地方独立行政法人の病院の監査実績を記載するよう、記載要領に定められているため、提案書では、公営企業型以外の地方独立行政法人の監査実績という意味合いで、「地方独立行政法人の監査経験」について記載している。
	4	職員に対して会計に関する研修会を開く予定はあるか。	過去の類似業務実績として、課長級以上の職員向けの研修や、現場担当者向けの会計処理の適正化を目標とした勉強会を定期的実施している。
	5	旧市民病院跡地について、帳簿上の処理だけでなく、売却等の実際の処理に関するアドバイスも想定していれば教えて欲しい。	会計士としてできるアドバイスをしていくため、概ね会計面でのアドバイスを行う。
	6	固定資産に関する減損処理以外の運用面での提案など、病院経営について、会計面だけでなく、包括的に提案することは可能か。	固定資産の実査を計画している。購入したまま有効活用されていない固定資産（医療機器）等を洗い出すため、実査の手続は重要であると考えている。有効活用できていない固定資産が確認できた場合は、経済性・効率性・有効性の観点から活用を提案していく。

事業者	番号	質問	回答
No.3	7	監査チームに専門職が関わることはあるか。	診療報酬の請求に係るシステムが、財務諸表作成上重要となるため、情報処理技術者を1名配置する予定である。 医療訴訟については、市民病院に既に顧問弁護士がついていることが想定されるため、監査チームとして弁護士等を配置することは想定していない。
	8	会計処理に関する指導・助言を行った後のアフターフォローの工夫は想定しているか。	会計監査業務の期間中は、継続して指導・助言をしたいと考えている。
	9	監査法人内部の研修は定期的に行っているか。	監査基準の改正や不正事例等に関する定期研修会を、月に1度実施している。また、地方独立行政法人の会計基準の改正などがあれば、定期的に集まり勉強会を行っている。 加えて、年に1度、全事務所のメンバーが集まり、2日間の研修を行っている。
No.4	1	オンライン監査を提案しているが、実地監査と併用し、オンライン監査が主ではないという認識で差し支えないか。	原則は、実地監査を行うが、証憑突合などはオンラインでも可能なため、可能な限りデータ化して監査を行うことを提案する。
	2	個人情報が入ったデータについては、実地監査を行う予定か。	ご推察のとおりである。 また、オンライン監査においては、大手システム会社と提携して、万が一漏えいがあっても追跡できるようなシステムを導入している。
	3	監査業務日数が短いように感じるが、この日数で十分な対応が可能か。	他の類似実績と比較しても少ない日数ではないため、実際の監査開始後も大幅な修正はないと思う。
	4	監査チームメンバーについて、監査責任者以外の3名は、何らかの資格を所有しているか。	全員公認会計士の資格を所有している。
		レセプトの専門家などは監査メン	収益監査の一環としてレセプトを

事業者	番号	質問	回答
No.4	5	バーに配置する予定はないか。	見るという観点で言うと、監査チームメンバー全員が病院の監査経験がある。 また、地方厚生局のOBとして経験が豊富な、施設基準アドバイザー本部の者を配置予定である。
	6	職員向けの会計研修を行う予定はあるか。	リクエストがあれば、行う予定。
	7	ベンチマークについて提案があったが、既に中期目標で定めている。更にこのようなことをした方が良いという提案があるのか。	DPCのベンチマークや価格のベンチマークなどを他病院と比較することを想定している。監査をする際には、病院の現状を踏まえて検討したいと考えている。
	8	固定資産の処理についてアドバイスを予定していることがあれば教えて欲しい。	今すぐには無い。
	9	会計処理に関する指導・助言の方法について、提案書に「監査結果において、不適切事項が確認されたものにおいては、病院側からの要望によりその改善に向けた助言を行う。」との記載があるが、病院側からの要望がなくても、必要な場合は、改善の指導・助言はしていただくと認識して良いか。	内容にもよるが、なぜそのような事態が起こったのかを確認し、すぐに改められるものは現場レベルで指導・助言を行い、組織で対応すべきものは、幹部に報告を行うなど、可能な限り当期中に改善していただけるよう、対応する。
	10	会計処理に関する指導・助言を行った後のアフターフォローはしていただくと考えて良いか。	ご推察のとおりである。
	11	監査法人内部の研修は定期的に行っているか。	監査チームメンバーに定期的に本を読むよう指導している。